

## 教育目標

### 1 経営理念

学校は「子供が学び、育つ場所」であると同時に、「教師が学び、育つ場所」でもある。「学び、育つ」ためには、一人一人にとって学校が安全で安心できる場所であってはいけない。そして、一人一人が気持ちよく生活を送ることができる場所であってはいけない。そのためには、すべての子供・教職員が毎日通いたいと思える学校にしていく必要がある。学校に通う一人一人の思いや考えが大切にされ、一人一人に居場所ができれば、自ずと自信が生まれ、主体的に学んだり、成長したりする姿があちこちで見られるであろう。一人一人の可能性を信じて委ね、やりがいをもたせていく。そして、常に相手に寄り添いながら伴走し、一人一人の可能性を最大限に引き出せる学校を目指していく。

### 2 学校教育目標 「自ら学び 心豊かで たくましい 子の育成」

### 3 教育方針

- (1) 毎時間の授業が学校教育の要であることを意識し、授業を通してめざす児童を育てる。
- (2) 各分掌で、めざす児童像から取組を焦点化し、重点的に取り組む。
- (3) 全教職員で指導を揃え、力を合わせて、めざす児童の育成に取り組む。

### 4 目指す学校像 「笑顔いっぱい めくりのある学校」

- (1) 一人一人の思いや考えが大切にされ、居場所がある学校
- (2) 子供も教師も共に学び、共に成長できる学校
- (3) 保護者・地域から信頼される安全で安心な学校

### 5 目指す児童像

- (1) 「自ら学ぶ子」(学びづくり)
- (2) 「自分も友達も大切にできる子」(心づくり)
- (3) 「健康で活力のある子」(体づくり)

### 6 目指す教師像

- (1) 毎時間の授業を大切にし、一人一人の子供の姿から授業改善に努める教師
- (2) 常に挑戦し、子供と共に成長する教師
- (3) 目標に向かって、チームワークを大切にする教師

### 7 カリキュラム・マネジメントの柱 「伝え合う力」

- (1) 失敗を恐れず、自分の考えを友だちと伝え合うことを通して、一人一人が学びを深めることができる。
- (2) 相手を思いやる挨拶や言葉かけをお互いが意識し伝え合うことで、学校が安全で安心な居場所だと感じることができる。
- (3) 学校行事や児童会、縦割り活動等での体験活動を通して、自分が感じたことを堂々と発信できる。

## 8 重点目標と方策

### (1) 組織的な学校運営

- ・主任主事等を中心にP D C Aサイクルを機能させ、互いに連携した組織的な教育活動を推進する。

### (2) 授業力向上と確かな学力の推進

- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、子供主体の授業づくりや学習場面における効果的なI C T活用に取り組む。

### (3) 自分も友達も大切にできる豊かな心と人間関係力の育成

- ・生徒指導の4つの視点を生かし、あいさつや正しい言葉遣いを習慣化させ、自己有用感や温かい人間関係を育む。
- ・児童理解や指導・支援の情報を共有し、特別支援教育の充実と不登校やいじめの未然防止、早期対応に努める。

### (4) 心身共に健康で活力のある子の育成

- ・学校行事や児童会、縦割り活動等での体験活動（白山手取川ジオパーク教育の推進）を通して、互いの良さや違いを認め合い、皆と一緒に活動ができる力を育成する。
- ・児童が主体的に体力づくりに取り組み、運動量を確保すると共に、最後までやり抜く力を育成する。

### (5) 家庭・地域との連携

- ・コミュニティ・スクールを推進し、地域との連携・協働を図る。
- ・地域の人的・物的資源を活用し、白山手取川ジオパーク教育を推進する。